

市立池田病院 地域医療連携ニュース

あけましておめでとうございます
旧年中は地域医療連携にご高配賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。
今月は、呼吸器内科から新型コロナウイルス感染症について、ご紹介させていただきます。

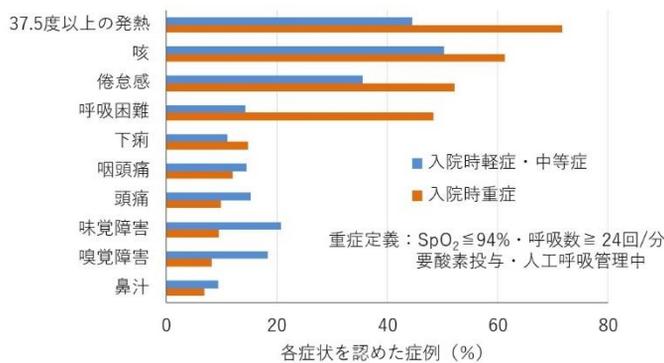
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

2019年末に中国・武漢で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に全世界に拡大し、パンデミックとなりました。日本では現在、第3波と言われていますが、今後1～2年は第4波、第5波と到来し、再燃と終息を繰り返していくとされます。そのため、すべての医療機関でCOVID-19を経験することになると考えられ、正しい知識と適切な対策が必要です。

自覚症状

COVID-19の症状としては、発熱、咳、倦怠感が多く、通常の感冒と比べ特異的なものはありません。

入院時症状（発症から入院までの中央値：7日間）

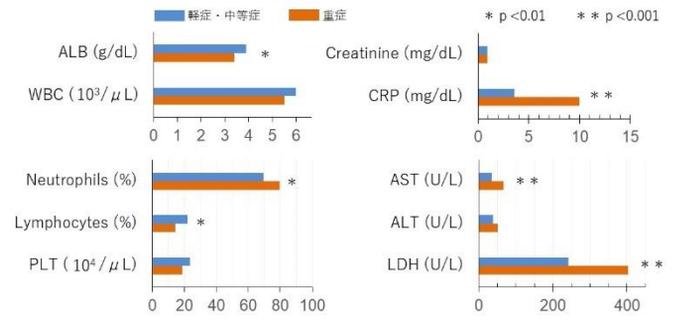


「COVID-19 レジストリ 研究に関する中間報告について」より改変

検査値

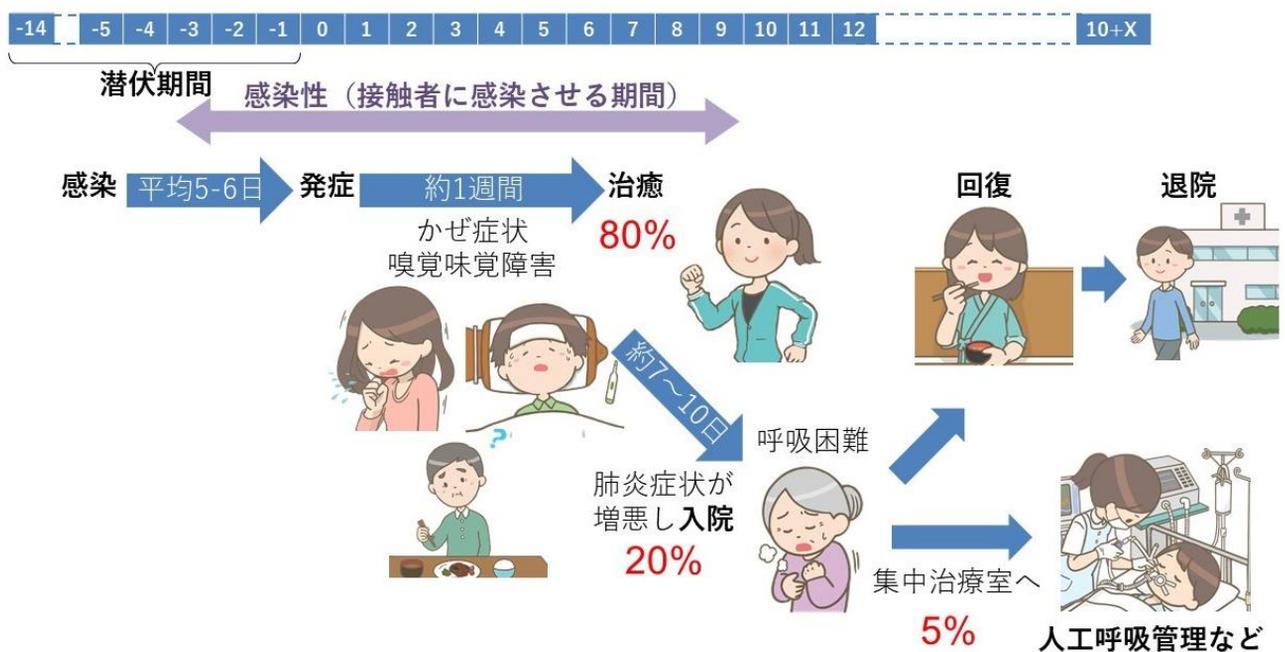
特異的なものはありませんが、重症例ではALB低下、好中球比率上昇、リンパ球比率低下、CRP・AST・LDH上昇などを認めます。初診時に軽症でも、これらの所見を認めた場合、重症化に留意する必要があります。

入院時検査値



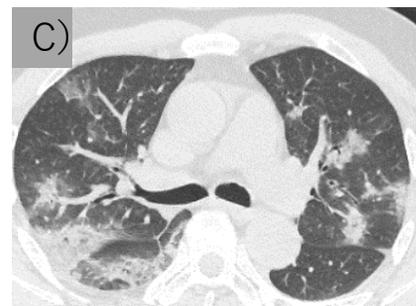
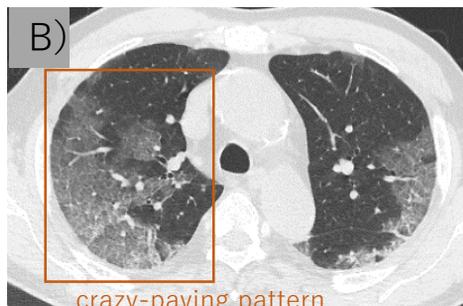
「COVID-19 レジストリ 研究に関する中間報告について」より引用して作図

臨床経過



画像所見

胸部単純X線で発症早期のCOVID-19の肺病変を見つけることは困難ですが、CTならわずかな病変でも検出でき、PCRよりも感度が高いという報告もあります。



A) 早期（発症後0～4日）
すりガラス影が主体
下葉の胸膜下に多い

B) 進行期（発症後5～8日）
すりガラス影、斑状影
crazy-paving pattern
(すりガラス影内部に網状影を伴う所見)
両側肺野、多葉性に分布

C) 極期（発症後9～13日）
両側多発斑状影

いずれもCOVID-19に特異的な所見ではありませんが、流行地域でこのような所見を認めた場合、COVID-19を疑う契機になります。

確定検査

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にかかると検査

検査の対象者 \ 検査		核酸検出検査			抗原検査（定量）			抗原検査（定性）		
		鼻咽頭	鼻腔※	唾液	鼻咽頭	鼻腔※	唾液	鼻咽頭	鼻腔※	唾液
有症状者 (症状消退者を含む)	発症から9日目以内	○	○	○	○	○	○	○ (※1)	○ (※1)	X (※2)
	発症から10日目以降	○	○	- (※4)	○	○	- (※4)	△ (※3)	△ (※3)	X (※2)
無症状者		○	- (※4)	○	○	- (※4)	○	- (※4)	- (※4)	X (※2)

※1：発症2日目から9日目以内の有症状者の確定診断に用いられる。

※2：有症状者への使用は研究中。無症状者への使用は研究を予定している。

※3：使用可能だが、陰性の場合には必要に応じて核酸検出検査や抗原定量検査を行うことが推奨される。

※4：推奨されない。

※：引き続き検討が必要であるものの、有用な検体である。

鼻孔から2cm程度、スワブ（綿棒）を挿入し、挿入後、鼻甲介付近をゆっくりと5回程度回転させ、十分湿らせる。被検者（患者）自身による自己採取も可能である。

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針第2版」より引用

検査には必ず偽陰性や偽陽性があります。手術前や入院時スクリーニングとして検査をする場合、偽陰性の確率が高くなることに留意してください。ある研究では、偽陰性率が最も低くなる発症から3日目であっても、偽陰性の確率は21%とされており、発症前日だと67%の確率で偽陰性になるとされています。

COVID-19患者を早期に診断するには、地域の流行状況を踏まえ、疑わしい症例に対し、積極的に検査を進めることが重要です。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。